

# Chiba Rosai News

千葉ろうさいニュース

Vol.3

平成26年7月15日



呼吸器内科・呼吸器外科医師

## 目次

- |   |                      |   |                |   |           |
|---|----------------------|---|----------------|---|-----------|
| 2 | 呼吸器疾患への取組み           | 4 | 病氣と向きあう        | 7 | 連携登録医のご紹介 |
|   | 呼吸器センター センター長 由佐 俊和  |   | 最先端の脊椎外科を目指して  |   | 医療法人社団健康会 |
|   | 呼吸器センター 副センター長 國友 史雄 | 5 | 患者さんとのつながり     |   | 菊間クリニック   |
|   | 呼吸器外科部長 安川 朋久        |   | 院内ボランティア活動について | 8 | 当院の理念     |
| 3 | 呼吸器内科副部長 弥富 真理       | 6 | ろうさいMini News  |   | リハビリ美術館   |
|   |                      |   | 新外来棟がオープンします！  |   |           |
|   |                      |   | ボランティア大募集      |   |           |
|   |                      |   | 患者さんからの声       |   |           |

# 呼吸器疾患への取組み



呼吸器センター  
センター長

ゆ さ としかず  
副院長 由佐 俊和

## 千葉労災病院呼吸器センター紹介

労災病院グループでは、産業構造の変化に応じた勤労者の新たな健康問題に対応するため、全国の労災病院に勤労者医療の各分野についての専門センターを順次設置しました。千葉労災病院には、平成11年に「呼吸器センター」、平成15年に「勤労者脊椎・腰痛センター」が設置されました。

「呼吸器センター」の使命は、勤労者や地域住民の呼吸器疾患に対して、従来の専門領域にこだわらず、高度で専門的な医療サービスを提供することにあります。慢性閉塞性肺疾患、呼吸器感染症、びまん性肺疾患、肺がん、自然気胸、胸部外傷など広範な呼吸器疾患を取り扱っていますが、診療科として呼吸器内科と呼吸器外科がそれぞれ得意の領域を緊密な連携のもとに受け持っています。

なかでも肺がんの患者数は年々増加しています。肺がんの手術療法では患者さんの負担を軽減すべく、低侵襲の内視鏡手術を早くから取り入れています。また、新しい分子標的薬による化学療法、放射線療法、緩和ケアなど肺がんの治療に総合的に取り組んでいます。たばこ喫煙は肺がんの主な原因とされますが、当センターでは禁煙支援にも積極的に取り組んでいます。(肺がんの内視鏡手術、禁煙支援については別稿をご覧ください。)

職業性呼吸器疾患の代表格ともいえるじん肺の診断・治療や健診については千葉県で主導的な役割を担っています。平成17年のいわゆるアスベストショックを受けてアスベスト関連疾患の診断・治療についても積極的に取り組んでいます。アスベストによる健康被害については別に「アスベスト疾患センター」を設け、アスベスト曝露を受けた方の相談、健診事業を行っています。

地域の中核病院としての役割の一端として、当センターは地元医師会のもとで行われている市原市住民の肺がん検診には指導的な役割を担い、その二次検診機関としても積極的に協力しています。

千葉労災病院「呼吸器センター」は、呼吸器疾患の専門的医療を担うセンターとして今後も地域の住民、勤労者に信頼されるよう努力してまいります。

## 呼吸器センター業務としての禁煙支援

呼吸器センターは呼吸器内科と外科とが一緒になって平成11年4月に設立されました。呼吸器内科と呼吸器外科の診療がすでにあり、何か呼吸器センターとして特色ある仕事をとということで平成12年より禁煙外来を開始しました。当時はニコチンガム、ニコチンパッチを使用した自費での診療であり、行われている施設はめずらしい状況でした。その後、平成18年に喫煙習慣がニコチン依存症という疾患であるという観点から保険診療となり、バレニクリンという薬物療法も可能となり一般に普及するようになりつつあります。長年、禁煙外来を行ってきた経験より、我慢を持続させる禁煙法では再発が多いということもあり、特にサポートを受けずにスパッとやめていく人々に着目。実際には禁煙成功者の多数を占めるであろう彼らの心理を研究し、独自の「終煙誘導法」と称したタバコをやめる手法を開発して平成18年度より禁煙保険診療に並行して実践し、一生吸わない心理作りを目指し、良好な成績を上げています。また、市原市の健康市原21のタバコ部門のリーダーとして設立時より参加して地域の健康づくり活動にも協力しています。

喫煙の問題は肺がんや慢性閉塞性肺疾患をもたらすばかりでなく、様々な疾患に関連し、さらに周囲の人にも受動喫煙の害を与え、やめたいと思ってもやめられないニコチン依存症の側面を持った健康推進を図る上で避けては通れない重要な問題であると考えています。



呼吸器センター  
副センター長

くにとも ふみお  
内科部長 國友 史雄

## 呼吸器外科手術の変遷

皆さんは呼吸器外科の手術にどのようなイメージをお持ちでしょうか。呼吸器外科の手術といっても色々なものがあるので、当科で最も力を入れている肺がんの手術についてはいかがでしょうか。たぶん「心配、痛い、辛い、考えただけでも怖い…」といったようなことがほとんどではないかと思います。

確かにほんの15年前までは肺がんを手術するのに、胸を約30cmも切開し、皮膚、筋肉に加え肋骨も一部切除するという、患者さんにとってとてもつらい手術でした。

はたして今はというと、おなかの手術で腹腔鏡下手術が行われているように、肺の手術でも胸腔鏡という内視鏡を用いた手術が行われるようになり、ずっと手術の負担が軽く小さくなっています。

当院では胸腔鏡下手術を積極的に取り入れており、肺がん手術の約3分の2に対して胸腔鏡下手術を行っています。当院の今の肺がん手術は、約4cm、2.5cm、2cm、1.5cmの傷各一か所で行っています。当然肋骨を切除することはありません。小さな傷で済み、手術後の痛みがはるかに少ないことから、80歳を超えたご高齢の方でも手術後約1週間から10日間ぐらいで元気に退院されています。

胸腔鏡下手術が行える条件の一つとして、比較的小さく早期のがんであることが挙げられます。がんが見つかって負担の軽い手術で早く元気になるように、1年に1度は健診を受け早期発見に努めることが大事です。



呼吸器外科部長

やすかわ ともひさ  
安川 朋久



呼吸器内科副部長

やま まり  
弥富 真理

## 呼吸器内科が担うこと

平均寿命、高齢者数、高齢化のスピードという点で、日本は超高齢化社会であり、市原市も例外ではなく、現在、人口の4人に1人が高齢者に迫る勢いでの高齢化地域と言えます。

当院は、地域がん診療連携拠点病院ならびに地域医療支援病院としての役割があり、呼吸器内科では肺がんの診断治療とかかりつけ医の先生からの紹介の患者さんや、至急の診断、治療を要する急性期の患者さんの受け入れに重きを置いています。

日本で現在亡くなる病気の原因としては、悪性新生物が一貫して上昇し続け、その中でも肺がんは男性一位、女性二位と最も致死的ながんと言えますが、その理由の1つは、多くの場合発見が遅すぎて効果的な治療を行うことができないことです。当院では、内科的治療が望ましい肺がん患者さんに対して、初期より緩和治療を導入し身体的、精神的苦痛の除去を第一としつつ、経過中抗腫瘍治療を行っています。抗腫瘍治療とは、抗がん剤での治療、遺伝子別に適した内服治療、放射線治療などの組み合わせを行うことでより効果的な治療を行うことですが、現在は画一的ではなく、テーラーメイド治療といって個々の患者さんに合わせた(もちろんご本人のご希望も取り入れた)治療を選択するように心がけております。

また、ご高齢の方にとってもっとも恐ろしい疾患が肺炎です。肺炎は死因疾患として3位であり、一旦重症肺炎にかかるると何とか命をとりとめたとしても、寝たきりになったり、飲み込みの機能が低下して経口摂取ができなくなる可能性が高く、ご本人やご家族への負担が大きくなるのしかかって来ます。当院では、より侵襲の少ない(つまり負担の少ない)呼吸管理を適切に選択することによって生活の質を低下させないことを重点とした治療を行っています。退院後は医療ソーシャルワーカーを通じてスムーズに在宅療養に繋げることに努めています。全ての医療スタッフが信頼のおける医療を提供することを、お約束いたします。

## 呼吸器センターご案内

呼吸器外科外来：火曜日(午前)・水曜日(午前)・金曜日(午後)

呼吸器内科外来：月曜日(午前)・火曜日(午前)・水曜日(午前)・木曜日(午前)

じん肺外来・タバコをやめる外来：水曜日(午前)

呼吸器センター症例検討会：毎週水曜日午後5時30分より。外部の医師の参加を歓迎します。

## 最先端の 脊椎外科を目指して

昨年秋に新病棟が開棟したと同時に当院の手術室が新しくなりました。手術室は10室となり、全国の同規模の労災病院としては異例の規格です。

整形外科の分野では勤労者医療のみならず、社会の高齢化とともに腰痛、その他の運動器の痛みで苦しんでいる方が増えてきています。当院でもそのような社会的な要請にこたえるべく体制を整えつつあります。当院では特に脊椎疾患に対して、脊椎・腰痛センターを設置し専門的に治療を行っています。今回の手術室ではこれまで以上にIT化され、高度で安全な手術が行えるようになってきています。

特筆すべきはO-Arm(オーアーム)と言って術中にCT撮影を行い、ナビゲーションのもとに手術操作が行えるようになったことです。

これまでも術中にレントゲンの透視を行いながら手術をしていましたが、これからはCT撮影を行うと同時にナビゲーションが可能となり、より正確に安全に病巣への到達、病巣の開削が行えるようになりました。

脊椎外科の分野ではインストルメンテーション手術、低侵襲手術が多用され、これまで不可能と思われてきた手術も可能となるなど手術が年々高度化しています。当院では手術中の神経刺激モニター装置も設置し、さらに手術の安全性を高めています。

椎間板ヘルニア、狭窄症、すべり症、頸髄症、脊柱側彎、後彎変形などに対して、わが国最高レベルの医療が当院で受けられるように外科医のみならず、麻酔科医師、手術室看護師、診療放射線技師、臨床工学士、薬剤師、手術スタッフが一丸となって努力しています。



勤労者脊椎・腰椎センター長  
副院長 やま がた まさ つね 山縣 正庸



医師同士のピアレビュー調査によって選ばれる Best Doctors in Japan に 2008 年から毎年選出されています。その領域の専門の医師の方々により高い支持を得られたものです。

# 患者さんとのつながり

## 院内ボランティア活動について

当院では、ボランティアの方々の温かい気持ちと、貴重なお時間を提供していただき、地域に根ざした病院として、より行き届いた患者サービスを提供することを目指しております。

ボランティアの方々には、院内に新鮮な風を吹き込み、患者さんの細やかなニーズに応えてくれる人として、重要な役割を果たしていただいております。

### 1 移動図書

主に入院患者さんへの図書の案内、貸出、管理を行っています。歩けない患者さんのために、病棟に出向いての図書貸出も行っています。



### 2 総合受付案内ボランティア

総合インフォメーションにて、受付の方法、院内の案内、何科にかかればよいか等の案内を行っています。



移動図書ボランティアのみなさま

### 3 中央材料室手伝いボランティア

中央材料室の手伝い作業をお願いしています。

### 4 リハビリテーション科でのお話相手

リハビリテーション科にて患者さんに声をかけ、お話相手になってもらっています。



### 5 展示物交換作業

院内に写真、絵画を飾ってもらいギャラリーを作っています。

### 6 草取り

院内の花壇の手入れや雑草等の駆除をお願いしています。



受付ボランティア



中央材料室ボランティアのみなさま

## 8月25日に新外来棟がオープンします!

平成23年度から始まった新病院増改築工事も4年目を迎え、この7月中に外来棟改修工事が完了し、8月22日(金)から8月24日(日)の3日間で移転を行い、**いよいよ8月25日(月)から新外来棟での外来診療がスタートします。**

新外来棟では、各診療科の位置が旧外来棟とは異なっておりますので、受診の際は院内の案内図等にてご確認くださいようお願い申し上げます。

また、外来診療を効率的に行うため、待受表示システムの導入、診療科受付窓口の廃止、1階エントランスでの問診票記載の中央化など、患者さんが診察室に入るまでの流れが変わりますので、皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。

一方、9月1日(月)からは増改築工事に伴い来院者用駐車場が減少し、現在よりもさらに駐車場の混雑が予想されることから、増改築工事終了(来年5月末見込)までの間は、バス、タクシー等の公共交通機関によりご来院くださるよう、重ねてお願い申し上げます。

9月以降は入院棟と外来棟をつなぐホスピタルストリート棟の建設工事に進み、来年6月には売店やレストランをリニューアルする他、新たにコーヒーショップを設けるなど、アメニティー向上を図るとともに、増改築工事が完了する平成27年度中には駐車場も拡張され、リニューアルした千葉ろうさい病院に生まれ変わりますので、是非ご期待ください。

新外来棟の詳細については、次号でお披露目いたします。

## 千葉ろうさい病院ボランティア大募集

当院のボランティアの仲間に加わってみませんか?職員一同、お待ちしております。

### 活動の開始時期

開始時期は、いつからでも結構です。活動内容は次のとおりです。

- ・受診の受付や不自由な方へのお手伝い及び院内案内
- ・車イス清掃

### 活動時間(予定)

平日8時半から17時のうち、活動していただける時間で結構です。

### 活動資格

心身ともに健康で長期活動が可能な18歳以上の方  
(現在医療機関に入・通院中の方の活動はご遠慮いただいております)  
責任のある行動がとれる方

### 申込・資料請求先

当院の総務課までお申し込みください。資料及び申込用紙を郵送いたします。

〒290-0003 市原市辰巳台東2-16 千葉労災病院総務課(☎0436-74-1111 内線2313)

## 患者さんからの声

### 患者さんから

私の夫が貴院に入院いたしました。家族に入院の経験がない私達家族にとっては大変な出来事でした。そのような状況の中で、親切な先生に巡り会えたことは本当に幸せなことで、心から感謝しております。

また、病棟の看護師の皆様にも親切にいただきお礼を申し上げます。

明日からはまた平凡な日々に戻れます。

平凡な毎日がいかに大切なことであるかがよく分かった出来事でした。

### 病院から

この度は、御家族の入院・手術に際して順調に経過されましたことを心よりお喜び申し上げます。初めての御入院で、様々な不安を抱えて入院生活を送られる患者さんと御家族の方々の支えとなりますよう、今後もスタッフ一同努めてまいります。

## 🌀 連携登録医のご紹介 🌀

# 菊間クリニック

やまうち けんじ  
院長 山内 健嗣 先生

この度は、貴院の広報誌に投稿の機会を頂きまして誠に有難うございます。当院は、昭和57年に先代院長(父)が開院しました。その後、紆余曲折の末、現院長である私が引継ぎました。当クリニックは消化器疾患、生活習慣病、整形外科疾患、小児疾患、など様々な病態の患者さんのかかりつけ医として、地域に密着した診療を行っているつもりです。そのような中で貴院には内科、外科をはじめ、小児科、耳鼻科等様々な診療科の先生に患者さんを紹介させて頂き大変お世話になっております。

🏆の野球好きなのですがW杯イヤーということで  
🏆の関係をサッカーで表すと、初戦でゴールを決めた  
🏆の本田選手と長友選手のような互いに信頼し合い、共通の目標のために共に切磋  
🏆ていく関係だと思っております。

🏆開業医にとって診療で困った時や専門的な治療が必要となった時に患者さんの紹介先が  
🏆のは非常に心強いものであります。お互い地域の患者さんのために全力を尽くし、  
🏆者さん中心の医療「心の通った医療」というゴールに向けて共に邁進していきたい所存です。  
🏆診療棟を新築され、今後も地域医療に対する貢献度が増した貴院の益々のご発展を心から  
🏆願っております。



## 医療法人社団健貴会 菊間クリニック 診療案内

〒290-0007 千葉県市原市菊間1705-10

【電話番号】 ☎0436-43-3025

【診療科目】 内科、胃腸科、小児科、外科、整形外科、肛門科、リハビリテーション科

	月	火	水	木	金	土
9～12時	●	●	●	休診	●	●
15～19時	●	●	●	休診	●	△

△：土曜日午後は14：00～17：00

往診、健康診断、各種検診、予防接種随時受付 [休診日]木曜・日曜・祝日

# 千葉労災病院 理念

## 基本理念

私たちは、地域の人々・勤労者から最も信頼される病院をつくります。

## 基本方針

- 一、患者さんの権利を尊重します。
- 二、安全で質の高い医療を提供します。
- 三、地域の基幹病院として医療連携に努めます。
- 四、急性期医療・予防医療を担います。
- 五、良質な医療人の育成をはかります。
- 六、健全経営を行い、明るく向上心に満ちた職場をつくります。



## リハビリ美術館

当院には患者さんによる作品を集めた美術館があります

### 「鳩の巣溪谷」

作／森川隆二さん

## 編集後記

まもなく外来棟が完成し千葉ろうさい病院もリフレッシュします。人も心身のリフレッシュが必要です。私のリフレッシュ方法はスポーツ観戦で、とくにプロ野球が好きでシーズン中は何度もスタジアムに行き、多くのファン達と一緒に大声出して応援します。私は白球を飛ばすのではなくストレスを吹っ飛ばして心身をリフレッシュさせます。いかがでしょうか、こんな野球ファンでもいいですよ。

広報委員会 小川 中(中央検査部)